

# スローテンポ通信

第 21 号

2018年10月25日

発行：一般社団法人スローテンポ協会  
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

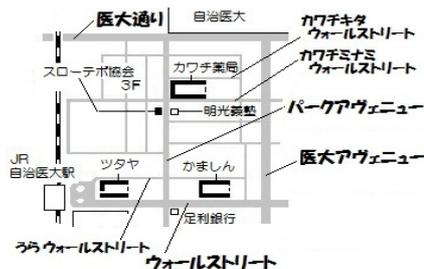
☎ 0285-35-2888

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ☆ 道路に愛称、どうですか？



いま注目の本屋

**スローテンポ書店**

営業：火金土 13時～19時  
水木 13時～21時

## ☆ 今月のおすすめ

### ① 『おいべっさん』

竹内紘子作 中川洋典絵  
解放出版社 2012年 1400円＋税

小学5年生の主人公が、山に住むおばあちゃんに一人で会いに行き、そこででの出会いと事件によって一段と成長する物語。

### ② 『火と文明の神 迦具土を見よ』

佐賀純一著、  
新幹社 2011年 2000円＋税

タイトルと表題がいかにめしく、手に取る前に逃げてしまいそうになるが、実際はとても読みやすいし、わかりやすい。原発事故直後に出版されたが、7年後の今読んでこそ大いに得るものがある。



### 何でも話せる 懇話会

思いを人に話すだけで、人は元気になります。どなたでも参加できます。  
水曜日午後7時～9時、参加費無料。



### 正しく伝えるための 文章教室

毎週木曜日午後7時～9時、  
参加費は資料代含めて、1回500円。  
参加随時、お問い合わせは当協会まで。

## 悪人を善人に変える方法

ブログ『うさぎもかめも』より抜粋

貧しく善良な庶民にとってはつらいことばかりが続くので、こんな夢の理論を考えた。

悪人を善人に変えるなんて、そりゃ無理だ、と誰もが思う。ところが、あるんですよ。ここで誰もが納得できるように、わかりやすく説明しよう。

まず、悪人とは、どういう人をさすのか。悪人とは悪事を行った人のことであって、内心を問題にはしない。いくら根性が悪くても、破滅思想の持ち主であっても、言動によって周囲に悪い影響を及ぼさない限り悪人とは言えない。

次に、悪事をはたらく人には必ず目的があるということを確認しておこう。詐欺はうまくカネを得るために人をだます。銀行強盗もカネを得るのが目的だ。選挙における不正は、当選を勝ち取るためだ。

近頃は、データ改ざん、贈収賄など、事件性になる悪事が目立ってきた。やるべきことをやらないといった「不作為犯」なるものが出てきたり、「未必の故意」による犯罪まであるから、ややこしい。

目に見える犯行よりも、もっと根深く社会を蝕んでいるのは、自分自身の問題を、犯人や世間のせいにして知らん振りすることである。

企業や学校で起こるパワハラやいじめ問題は、内部事情を知る当事者たちが、問題解決よりも無難に任期を終えることを願っているのだから、解決するはずがない。指導管轄する役所までが、同じような空気に支配され、その空気に逆らうことができない。

空気を読み損得勘定で行動する人たちを、悪人と言えるだろうか。

空気を読んで流れに逆らわず生きる人たちの中で、私欲のために不正をはたいたり賄賂を受けたりする人間も出る。そうした犯罪行為が悪行だ。

悪行の目的はカネ、権力欲、出世欲、名誉欲やときには単に注目されたい願望などのこともある。悪行は、欲求を手っ取り早く満たすため、ということになる。

庶民がいつも困るのは、悪徳商法や詐欺、交通法規や社会法規を守らない人、万引きや公共の場での些細な迷惑行為などだ。

これらの悪事も、規模が小さいだけで構図は同じである。悪事には必ず目的がある。目的のない突発的な行動による迷惑は悪事とはいわない。

ではなぜ、悪事をはたらく人と、そうしない人がいるのか。つまり、なぜ悪人と善人がいるのか、という疑問だ。

悪人とは、欲望が強すぎるか、欲望を抑えられない人だとか、あるいは悪事を自慢するか、それとも善悪の境界線がわからない人たちのことだ、などと心理学や教育の専門科などが議論している。道徳教育が教科になったのもその流れから来るのだろう。

しかし、教師も子どもも、道徳教育に身が入らない。それは当然で、子どもたちが教わったとおりに実行すれば、現実社会について行けずに惨めな人生を送ることになる。現実には、他人をだまして要領よく業績を上げる人ばかりが認められ輝いている。

空気を読んで空気に合わせなければ、満足な生活は得られないのだ。それがわかるから、道徳教育なんて、まじめにやられてられないし、聞いてもらえないということになる。

欲望を抑えられない子に対しては、衝動的だとして性格の問題にしたり、発達障害などという病名をつけて病気のせいにして逃げる。

かつて日本には、落ち着きのないうちや衝動的な子に対する教育があったはずだ。剣道や柔道などは幼少から始め、精神修養を大切にされた。

剣道、柔道も含め、瞑想、座禅、茶道、華道など世界に誇るべき日本の伝統的精神文化は、効率優先の欧米一辺倒の空気によって忘れるように仕向けられているように感じる。

さて、長くなりそうだ。とっておきの方法を知りたい方は、続きをブログでご覧ください。

N